

政策シート

政策名

06 安全・安心な居住環境への誘導

予算費目名

01 建築行政費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野

03 安全・安心・快適

理想の姿

(30年後)

◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

政策の柱

(10年後)

◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策

03 市民が集う活力ある都市づくり

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

建築基準法、その他建築関係法令に基づく審査・認定・指導等を通じ建築物の適切な建設・維持保全を推進し、また条例に基づく狭い道路の拡幅整備の推進、民間建築物の耐震化の促進(地震対策推進事業の市民へのPR活動を更に強化)及び人体に有害なアスベストの分析調査・撤去を促進し、安全・安心な居住環境への誘導を行う。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑦エネルギー	⑪都市	⑫生産・消費						
--------	-----	--------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	327,197	348,460	407,498	424,399	465,487	614,254
決算	315,057	334,292	367,280	389,033	442,544	433,876
人件費(報酬等)(A)	199	122	105	71	72	71
人件費(人工分)(B)	256,400	249,400	249,400	241,700	255,020	237,840
年間経費(決算+A+B)	571,656	583,814	616,785	630,804	697,636	852,165

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
特殊建築物等への査察件数	件／年	目標	20	20	20	30	－	－
		実績	27	39	65	28	－	－
昇降機等の定期報告率	%	目標	－	－	－	－	100	100
		実績	96.7	96.3	97.3	97.1	96.4	97.2
狭い道路拡幅整備総延長	km	目標	57.5	60.0	62.5	65.0	67.5	70.0
		実績	56.0	58.3	60.4	62.6	65.1	66.8
住宅の耐震化率	%	目標	91.0	95.0	91.8	92.6	93.5	94.4
		実績	90.0	90.8	91.5	92.2	93.2	2025.8頃確定

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

・建築基準法、その他建築関係法令に基づく審査・認定・指導等を通じ、建築物の適切な建設・維持保全を推進した。
・条例に基づく狭い道路の拡幅整備の推進、民間建築物の耐震化、及び人体に有害なアスベストの分析調査・撤去の促進等により、安全・安心な居住環境への誘導を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>

遅れている

建築基準法その他建築関係法令に基づく審査・認定・指導等により、建築物等の適切な建設・維持保全を誘導し安全性が高まった。
狭い道路の拡幅整備事業は、寄附率の低下が響き、整備延長の目標には到達しなかった。
また、耐震化が未対策の住宅へPR活動を継続しているが、近年の住宅の耐震化率は鈍化傾向となっている。今後も引き続き市民の協力を得て、安全・安心な居住環境への誘導を図っていく。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	良質な建築物建設促進事業	－	○		125,880	4,549	15.5	0.9		3.4	71
2	狭い道路拡幅整備事業	－	○		258,235	225,875	4.2	0.2		0.8	
3	地震対策推進事業	－	○		419,291	376,011	6.0	0.2		0.2	
4	民間建築物アスベスト対策事業	－	－		6,473	4,373	0.3				
5	建築行政デジタル運営経費	－	－		6,516	616	0.7	0.2		0.1	
6	建築行政運営経費(一般諸経費のみ)	－	－		35,770	2,830	4.3	0.4		0.5	
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					852,165	614,254	31.0	1.9		5.0	71

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート

(事業名) 01 良質な建築物建設促進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

建築基準法及びその他の建築関係法令に基づき、確認審査、検査、許認可等を行うと共に、建築物等の適切な維持管理への誘導や法令違反への是正指導等を通じて良好な居住環境の維持・向上を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1966	—	一般会計	自治事務(その他)	建築基準法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費					⑦エネルギー			
事業とゴールの関連性		建築物は都市の基盤であるため、より良い建築物を普及させることで持続可能な都市の創出に貢献することができる。また、建物の長寿命化と効率的な利用を推進することで、資源の利用効率を向上させることができ、地球環境への負の影響を抑制すると共に建築物の運用コストの削減に繋がる。 更に、省エネを目的とした建物の断熱性向上は、人々の健康状態にも良い影響を与える。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,913	5,843	5,213	4,730	4,594	4,549
	決算	5,613	4,487	4,145	4,085	3,809	3,853
	国・県支出						
	市債						
	その他	5,613	4,487	4,145	4,085	3,809	3,853
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		199	122	105	71	72	71
人件費(人工分)(B)		161,120	149,220	144,740	135,540	146,340	121,260
人工	正規	21.0	19.3	18.7	17.3	19.1	15.5
	再任用(31h)	1.2	1.2	1.2	1.6	1.1	0.9
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	3.5	3.5	3.4	3.1	3.1	3.4
年間経費(決算+A+B)		166,932	153,829	148,990	139,696	150,221	125,880

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
特殊建築物等への査察件数(件)		目標	20	20	20	30	—	—
		実績	27	39	65	28	—	—
昇降機等の定期報告率(%)		目標	—	—	—	—	100	100
		実績	96.7	96.3	97.3	97.1	96.4	97.2
長期優良住宅建築等計画認定率((認定件数/新築専用住宅数)×100)(%)		目標	38	38	39	39	40	40
		実績	43	44	48	50	58	70
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・建築基準法等に基づき、建築物等の確認審査、中間検査、完了検査、許認可等の実施及び建築物の適切な維持管理への誘導や違反建築物の是正の指導等を行った。
・建築に係る紛争等を防止するため、条例に基づき事務処理や苦情等の対応を行った。
・環境問題や少子高齢化問題等に適切に対応するため、省エネ法や地球温暖化防止条例、バリアフリー法や福祉のまちづくり条例等に基づく届出や指導、長期優良住宅の普及促進のための認定事務、低炭素建築物新築等計画認定事務等を行った。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・建築基準法等に基づく審査・検査・許可等を行うと共に、建築物等の適切な維持管理を誘導し、昇降機等の定期報告を4,167件受理した。(2025.4.30時点)
・中高層建築物紛争予防条例に基づく届出受理を36件行った。
・省エネ法届出受理128件、省エネ法適合性判定2件、長期優良住宅建築計画認定1,896件、低炭素建築物計画認定8件等を行った。
以上により良好な居住環境の維持・向上を図ることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
概ね前年並みの事業進捗を図った中で、長期優良住宅建築計画認定については、新築住宅件数に占める割合は年々増加している。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・建築基準法等に基づき既存建築物の適正な維持管理への誘導を継続する。
・長期優良住宅については、新築住宅に占める認定割合が順調に伸びており、引き続き推進を図る。

事業シート

(事業名) 02 狭い道路拡幅整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

幅員4メートル未満の狭い道路に接した土地所有者の協力を得て、門塙等の後退及び土地の寄附等により拡幅整備をし、日照、通風の確保、自動車通行や消防・救急活動の円滑化を図り、安全で快適な災害に強いまちづくりを進める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2002	—	一般会計	自治事務(その他)	狭い道路の拡幅整備に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市									
事業とゴールの関連性	狭い道路を拡幅することで、通行上、環境衛生上、良好な状態を確保するとともに、地震や火災などの災害時には消防、救急活動に供するなど、災害に強いまちづくりを推進する。								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	195,216	200,531	196,302	219,188	243,460	225,875
	決算	191,853	199,964	193,480	218,257	243,270	225,814
	国・県支出	101,897	76,867	90,077	100,604	113,155	104,266
	市債						
	その他						
	一般財源	89,956	123,097	103,403	117,653	130,115	121,548
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		39,220	35,720	36,000	33,900	34,600	32,360
人工	正規	5.3	4.8	4.8	4.5	4.6	4.2
	再任用(31h)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8
年間経費(決算+A+B)		231,073	235,684	229,480	252,157	277,870	258,235

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
拡幅整備延長(km/年)		目標	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
		実績	2.4	2.3	2.1	2.2	2.5	1.6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	06	01	002131000	02	建築行政課	鈴木 成幸	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

「狭い道路の拡幅整備に関する条例」に基づき提出された事前協議書により、建築主等から道路後退用地及び隅切り部分について寄附する意向が示された場合には、当該道路後退用地の境界立会、測量、後退用地等の分筆登記、市への所有権移転登記を順次行った後、後退部分の拡幅整備工事を行った。

拡幅整備工事に伴い、道路後退用地内に存する門塀等の撤去移設等が必要となった場合は、その費用の一部を助成した。

また、隅切り用地を寄附した場合には、当該用地が属する地域の時価相当額を奨励金として交付した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2024年度は、道路用地として寄附受納した83件、1.61kmの拡幅整備を行った。年間目標とする拡幅整備延長には到達しなかったが、安全なまちづくりを促進した。

当年度受付案件の寄附申請率は36%だったが、事業成果における指標を達成させるためには、寄附申請率の向上が課題である。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

年々上昇を続ける労務費や土木資材の値上げ等が、拡幅整備工事費の高騰に繋がっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
物価高や建設費の高騰に伴う住宅着工件数の低下が響き、目標とする整備延長に達しづらい状況下ではあるが、一定の寄附申請率の維持により、目標とする事業進捗が可能となる。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
寄附申請率を向上させることで、道路拡幅整備を進捗させていく。そのために、継続して申請代理人等を通して申請者への寄附勧誘を行っていく。
安定した実績を示すことで、国交付金等の予算を確保し、着実に事業進捗を図って行く。

事業シート

(事業名) 03 地震対策推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

予想される巨大地震による市民の生命や財産の被害をはじめ、震災時の緊急交通の確保や土砂災害による被害を最小限に抑えるため、旧耐震基準で建てられた建築物の耐震化や転倒の危険性のあるブロック塀等の対策を図る。また、防災意識の啓発等により事業推進を図り、安心して暮らせる居住環境の実現を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1997	—	一般会計	自治事務(その他)	建築物の耐震改修の促進に関する法律等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市								
事業とゴールの 関連性	予想される巨大地震による市民の生命や財産の被害を最小限に抑えるため、防災意識の啓発等により建築物の耐震化や転倒の危険性のあるブロック塀等の対策を図り、安心して暮らせる居住環境の実現を目指す。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	111,192	132,375	183,162	192,349	209,936	376,011
	決算	103,396	121,456	149,093	159,872	189,499	199,773
	国・県支出	65,034	77,772	105,329	105,686	125,089	140,236
	市債						
	その他						
	一般財源	38,363	43,684	43,764	54,186	64,410	59,537
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		30,460	34,660	36,060	36,760	36,440	43,280
人工	正規	4.3	4.9	5.1	5.2	5.0	6.0
	再任用(31h)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						0.2
年間経費(決算+A+B)		133,856	156,116	185,153	196,632	225,939	419,291

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
住宅の耐震化率(%)		目標	91.0	95.0	91.8	92.6	93.5	94.4
		実績	90.0	90.8	91.5	92.2	93.2	2025.8頃確定
特定建築物の耐震化率(%)		目標	94.0	95.0	93.0	93.5	94.0	94.5
		実績	92.0	92.7	94.5	95.1	95.3	2025.8頃確定
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・ブロック塀等撤去改善事業…地震に対して倒壊や転倒の危険性のあるブロック塀等の撤去や改善に対して、その費用の一部を助成した。
・わが家の専門家診断事業…旧耐震基準で建築された木造住宅について、無料耐震診断を行った。
・木造住宅耐震補強助成事業…旧耐震基準で建築された耐震性不足の木造住宅の耐震補強工事に対して、その費用の一部を助成した。
・建築物耐震診断/補強計画策定事業…旧耐震基準で建築された建築物等(非木造住宅含む)の耐震診断及び補強計画策定に対して、その費用の一部を助成した。
・建築物耐震補強助成事業/緊急輸送道路沿道建築物耐震補強助成事業…旧耐震基準で建築された耐震性不足の建築物等の除却工事に対して、その費用の一部を助成した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2024(令和6)年度は

- ・ブロック塀等撤去改善事業…撤去113件、改善84件
- ・わが家の専門家診断事業…650件
- ・木造住宅耐震補強助成事業…142件
- ・建築物耐震診断/補強計画策定事業…12件/1件 計13件
- ・緊急輸送道路沿道建築物耐震補強助成事業…3件

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・耐震化率については概ね計画通り進んでいる。
- ・2024年1月の能登地震を受けて市民の旧耐震木造住宅の耐震化への意識が高まってきている。
- ・大阪府北部地震から年月の経過とともにブロック塀の撤去助成件数は減少傾向にある。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内の全ての道路を安全上重要な避難路と定義し、危険なブロック塀の撤去・改善の対象路線とし、危険ブロック塀の撤去改善事業を推進した結果、件数が増加した。旧耐震木造住宅についても令和7年度末耐震化率95%を達成すべく耐震化への啓発と広報活動を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

耐震化率の目標達成に向けて、引き続きブロック塀等撤去改善事業、木造住宅耐震補強助成事業の啓発を実施し事業を推進していく。

事業シート

(事業名) 04 民間建築物アスベスト対策事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

人体に有害な吹付アスベストによる健康被害に対する市民の不安を解消するため、吹付けアスベストの分析調査への誘導及び撤去等の対策を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2009	—	一般会計	自治事務(その他)	大気汚染防止法、労働安全衛生法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市								
事業とゴールの 関連性	建築物吹付けアスベストの飛散による大気汚染を未然に防止し、塵肺や肺癌、悪性中脾腫等の人体への健康被害を減少させる。これにより安全な都市及び人間居住を実現する。							

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	11,662	6,617	13,233	4,417	3,854	4,373
	決算	11,454	6,298	11,801	4,083	3,284	1,495
	国・県支出	6,020	3,181	6,222	2,146	1,705	855
	市債						
	その他						
	一般財源	5,434	3,117	5,579	1,937	1,579	640
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100	2,800	3,500	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		13,554	8,398	13,901	6,883	6,784	6,473

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
アスベスト除去等件数		目標	4	3	4	4	4	4
		実績	4	2	4	2	1	1
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	06	01	002131000	04	建築行政課	鈴木 成幸	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

浜松市民間建築物吹付けアスベスト対策事業費補助金交付要綱に基づき、アスベスト分析調査及びアスベスト除去等工事を実施する者に対し、その事業に要する費用の一部を助成した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

2024年度はアスベスト含有分析調査補助を2件、アスベスト除去工事補助を1件行った。
未対策の建物が約16件あるが、使用中の建物が多いため除去工事が進んでいない。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工
建築物所有者等に対して事業PRを実施したが、補助申請件数は目標に達することができなかった。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工
アスベスト台帳(1956年から1989年までに施工された民間建築物のうち延べ面積が300㎡以上のもの等)のうち、工場、倉庫等の事業者に連絡、訪問し事業を推進していく。また、国の補助制度がR7年度で終了見込みだが、継続して現時点で把握している未対策物件、未分析物件の建物所有者等に対する啓発も継続して行う。

事業シート

(事業名) 05 建築行政デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

建築基準法による指定道路図の閲覧システムの整備や、建築許可関係資料等の保存文書を電子化し、市民サービスの向上及び業務の効率化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	—	一般会計	自治事務(その他)	—

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			6,597	562	500	616
	決算			6,582	560	252	552
	国・県支出			3,048			
	市債						
	その他			486	560	252	552
	一般財源			3,048			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)				2,100	2,660	3,100	5,900
人工	正規			0.3	0.3	0.3	0.7
	再任用(31h)					0.2	0.2
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				0.2	0.1	0.1
年間経費(決算+A+B)				8,682	3,220	3,352	6,516

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

・建築許可関係資料等の保存文書の電子化を進めた。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

・建築許可関係資料等の保存文書の電子化を進めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・本庁舎以外の倉庫や地下文書庫に保管してある過去の紙ベースの建築許認可等の関係書及び不適格建築物の報告等をPDF化し課内のPC上での閲覧を可能にすることにより、市民サービスの向上及び業務の効率化が実現した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、過去の紙ベースの建築許認可等の関係書及び不適格建築物の報告等をPDF化し、市民サービスの向上及び業務の効率化を図る。

事業シート

(事業名) 06 建築行政運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,214	3,094	2,991	3,153	3,143	2,830
	決算	2,740	2,087	2,179	2,176	2,430	2,389
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,740	2,087	2,179	2,176	2,430	2,389
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		23,500	27,700	28,400	30,040	31,040	32,940
人工	正規	3.1	3.7	3.8	3.8	4.2	4.3
	再任用(31h)	0.5	0.5	0.5	0.1	0.3	0.4
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)				1.1	0.2	0.5
年間経費(決算+A+B)		26,240	29,787	30,579	32,216	33,470	35,770

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工